

貞幸村の至宝展

2016年1月7日(木)→20日(水)

一般・大高生 800円(700円)、中学生 400円(300円)、小学生以下は無料

午前10時→午後8時(午後8時30分閉場)※最終日は午後5時30分まで

(午後6時閉場)

大丸心斎橋店 北館14階イベントホール

入場料(税込)

～仙台真田家に伝わる、幸村所用の家宝を特別公開～



DAIMARU

心斎橋店

電話(06)6271-1231 / 北館は10時→20時30分 南館は10時30分→21時 北館13階レストランフロアは11時→22時



今般、関係者の皆様のご尽力により展示の機会を与えて貰いました。心から深く感謝致します。

この中の大半のもの達にとつて、この大阪の地は故郷であり、やつとお里帰りをさせることができました。

もの言わぬもの達ですが、どうぞ心で語りかけて下さい。

きっと、四〇〇年の時を駆いでくれることでしょう。

真田徹



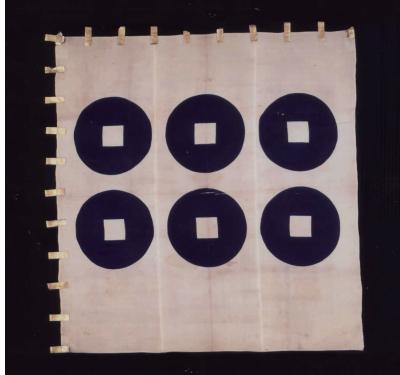
戦国末期の英雄

春田勝光作
『南蛮胴具足』

受け継がれた至宝の数々



※写真はイメージになります。



「六文銭旗」

真田幸村から数えて、真田家第十四代当主。上田市観光大使。歴史研究家。1948年生まれ。仙台出身、現在は東京に在住。福島大学を卒業後、建設会社に勤務し2013年定年退社。現在は全国での講演やテレビ出演、観光イベントなどに出席するなど、幸村の末裔として多忙な日々を送っている。

真田幸村は戦国末期の大坂の陣で徳川家康率いる東軍を相手にひと泡吹かせた名将である。大坂冬の陣では、真田丸の戦いにおいて、寄せ手を完膚なきまでに叩き、日ノ本中にその名を轟かせた。

大坂夏の陣、譽田合戦では「関東勢百万と候え、漢は一人もなく候」と見せ場を作り、天王寺合戦では徳川家康本陣に三度突撃、安居神社で最期を遂げた。

多くの講談では、このシーンで幸村の一生が終わっているのだが、実は真田幸村の血は意外なところで繋がっていた。

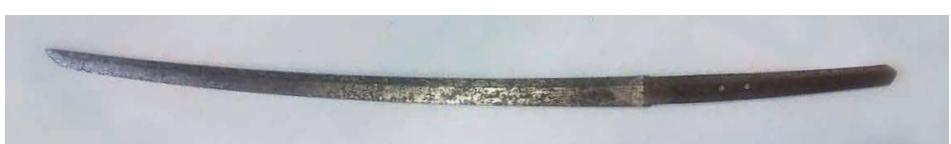
幸村から数えて十四代目のご当主真田徹氏のご協力のもと、今回貴重な幸村の遺品の数々が大阪の地で展示される事となつた。数は多くはないが、どれも貴重な、まさに戦国時代ファンにとって至宝ともいえる品々である。

幸村とその父昌幸の肖像画は幸村ファンなら一度は書籍で目にしたことであろう。さらに、幸村が指揮に使っていた采配や身に着けていた甲冑、真田隊の軍旗などは、見事なまでに残っている。そして、真田隊が徳川勢を崩した際に戦利品として持ち帰ったという「伍の旗」（家康直属の使い番の旗）など、幸村の活躍に思いを馳せることができる。



『昌幸公寿像』

『幸村公寿像』



2015年に真田氏より直接連絡を戴いた頃からずっとお願いを重ね、今回の展示に間に合うように、美しく研ぎ上げがつた宝刀”金剛兵衛源盛高作“がお披露目となる。その他、まだ紹介しきれないが、今回の展示は、真田幸村という英雄に浪漫を感じ、そしてどこか身近な庶民のヒーローとして愛された幸村の魅力が伝わってくるのである。

『真田日本一の兵』と評された幸村の魂と、子々孫々に伝えられた宝物の数々を、是非ともこの機会にご覧戴きたい。

企画監修・戦国魂プロデューサー 鈴木智博 拝

『白采弊』

金剛兵衛源盛高作
「刀身」



大丸心斎橋店

北館14階イベントホール

〒542-8501 大阪市中央区心斎橋筋1-7-1

お問い合わせ TEL 06-6271-1231
(代表)

